

# 令和8年度 グリーンイノベーション創出支援業務委託 仕様書

## 1 目的

本市では、市内中小企業を中心とするグリーンイノベーションの創出に向けた支援を通じ、地域の環境分野に関する社会課題を解決するための様々な取組を実施している。本業務は、そのような取組の一環である川崎国際環境技術展（以下「技術展」という。）を起点とする企業支援、ビジネスマッチングを通じて、個別企業の経営基盤の強化と、事業化、収益獲得を実現する新事業の発掘及び育成を目的として実施する。なお、技術展の概要については別紙（参考）を参照すること。

## 2 委託実施期間

契約日から令和9年3月31日まで

## 3 業務目標

- （1）本委託業務期間中に技術展においてビジネスマッチング（※）を700件以上創出すること。  
（※）ビジネスマッチング：技術展内で創出した交流のうち、対面、オンラインによる商談の可能性のある数をビジネスマッチングの件数としてカウントする。カウントは、4（5）（ウ）によるアンケートを通じて行うこととする。
- （2）環境分野に関する社会課題を解決するための新製品・サービス等の開発に取り組む市内中小企業を2社以上支援すること。なお、対象となる技術・サービスは令和10年度末を目途に上市する（初めて市場に出される）ことを目安とする。

## 4 業務内容

- （1）出展者の誘致  
自社のネットワーク等の活用、関連する展示会への訪問等を通じ、新規出展者を技術展に誘致するための活動を行うこと。なお、誘致対象はビジネスマッチングを出展目的とする企業に限る。
- （2）新製品・サービス等開発委託事業の実施  
環境分野に関する社会課題解決のための製品・サービスを開発する事業について、モデル事業として選定の上、製品化に向けた伴走支援を公募により実施する。  
なお、モデル事業実施件数は2件から3件とし、事業費上限は総額4,000,000円（税込）とする。

実施スケジュール（予定）	
令和8年4月	公募要領作成
令和8年4月上旬～6月上旬	公募期間
令和8年6月上旬～7月上旬	審査・結果通知
令和8年8月～11月	発表に向けた伴走支援
令和8年11月中旬	川崎国際環境技術展における中間発表
令和8年12月～令和9年3月	会期後フォローアップ・確定検査・支払

モデル事業の実施にあたり、以下の業務を実施すること。

(ア) 募集関係資料の広報補助業務

モデル事業の公募にあたり、発注者から提示された公募要領・申請書類・募集チラシ等について、受注者の有するネットワークを生かし効果的な広報手法を提案のうえ、実施すること。

(イ) 応募受付・審査補助業務

企業から応募のあった資料を受け付け、応募書類の取りまとめを行うこと。また、モデル事業選定にあたる審査会及び審査項目に基づいた有識者からの意見聴取について、発注者と調整の上資料の作成及び調整を行うこと。また、有識者への謝金の支払いを行うこと。

(※) 有識者の謝金は最大5名程度、1回につき12,500円(税抜)を見込む。なお、謝礼の支払いは受注者が行うこと。

(ウ) モデル事業の実施支援業務

モデル事業の実施にあたり、受注者は採択企業と調整を行うとともに、第19回川崎国際環境技術展開催までの間に2回、開催後、令和8年度末までに2回程度、発注者とともに進捗状況の確認を行うこと。

また、採択された事業内容等を踏まえ、実施内容のサポートに適した専門家を選定し、発注者に提案すること。併せて、専門家による開発にあたる助言等、定期的な伴走支援を実施し、専門家への謝金の支払いを行うこと。

(※) 専門家派遣の謝礼は本委託業務期間中に1社につき最大3回程度、1回につき12,500円(税抜)を見込む。なお、謝礼の支払いは受注者が行うこと。

(エ) モデル事業の実施過程・成果等に対する広報支援業務

モデル事業の実施過程等について、幅広く発信するため、技術展全体の広報と連動した効果的な広報手法を検討し、技術展におけるビジネスマッチング、事業化後の成約に繋がるような内容として実施すること。

(オ) モデル事業の中間発表業務の実施

モデル事業の内容は、技術展において中間発表を行う(4(9)における出展者ピッチで実施する想定)。このことについて、モデル事業実施事業者に対する支援を行うこと。なお、当該事業者については出展料及び一部備品を無償とする。

(カ) モデル事業実施に係る経費の精算(確定検査)

委託料のうち、モデル事業の経費については、発注者と共に確定検査として採択企業から領収書等の支出確認資料の提出を求め、原則として実費精算により、経費の支出を行うこと。

※経費の精算に伴い、委託料に残額が生じる場合は、本委託の支払時に精算を行うこととする。

【事業フローイメージ】※ ○(主) △(副)

事業フロー	発注者		受注者	
(ア) 募集広報補助	○	資料作成	△	広報支援
(イ) 応募受付・審査補助	○	審査会等開催	△	審査会資料作成
(ウ) モデル事業実施支援	△	実施内容の検討	○	支援業務の実施
(エ) モデル事業広報支援	△	発信内容の検討	○	支援業務の実施
(オ) モデル事業中間発表	△	発表内容の検討	○	発表業務の実施
(カ) モデル事業経費精算	○	確定検査の実施	△	支払事務の実施

### (3) 来場者の誘致

出展者とのマッチング対象となるバイヤー、協業先（以下「バイヤー等」とする。）を技術展に招へいすること。招へい対象は企業に限らず、行政、支援機関関係者も含むものとする。招へい活動は令和8年6月頃から開始し、特に4（2）におけるモデル事業実施事業者の事業に対するバイヤー等を積極的に招へいすること。また、招へいしたバイヤー等に対しては来場のみ案内とせず、（9）における出展者ピッチ及び会期中に実施される出展者同士、出展者と来賓等ゲストの交流を目的とした交流会（ビジネス交流会）等の参加を積極的に促し、出展者とのビジネスマッチングを生み出すためのフォローアップを行うこと。

### (4) ビジネスマッチングシステムの実装・運営

令和8年8月までに出品者と来場者によるビジネスマッチングを創出するためのマッチングシステムを実装し、9月までに全出品者に対して通知すること。なお、システムは以下の機能を設けることとする。

- ・ 出品者、来場者双方向、及び出品者同士によるマッチングリクエストができること。
- ・ 会期前に成立したマッチングについて、当日4（8）のビジネスマッチングブースで面談を行うためのスケジュール、場所選択等ができること。
- ・ 出品者、来場者等300名以上の関係者が参加できること。
- ・ 発注者及び受注者が管理者として利用状況等の閲覧ができること。
- ・ 技術展の来場登録と一体化させるなど、来場者の負担が少ない形とすること。

### (5) 出品者に対するアンケートの実施

本業務期間中、全出品者に対して以下のアンケートを作成、実施すること。

#### (ア) 会期前アンケート

出品者がビジネスマッチングを希望する来場者の業種、業態、技術展における各企画の参加意向等を調査項目とする。

#### (イ) 会期中の出品者同士によるマッチング調査のためのアンケート

会期中、4（8）におけるマッチングブースにおける出品者同士の面談等によるマッチングを行うためのアンケートを実施する。

#### (ウ) 会期後アンケート

技術展において創出されたビジネスマッチングの成果や、各企画等に参加した感想、次回技術展の出展意向等を調査項目とする。

### (6) 出品者に対する会期前ビジネスマッチングコーディネーター・広報支援業務の実施

出品者のうち、10社程度の市内中小企業に対して会期前にビジネスマッチングのコーディネーターを実施すること。対象者については令和8年8月までを目途に発注者と協議の上決定し、会期前に順次対象企業への訪問を行い、希望するマッチング先や企業シーズについてヒアリングした上で、技術展当日に向けたビジネスマッチングのコーディネーターを行うこと。その他、4（5）（イ）におけるマッチング希望や、別途来場登録時に実施するマッチング希望についてもコーディネーターの対象とする。併せて、ヒアリングした内容を記事化し、WEB媒体等を通じた広報を行うこと。なお、対象は4（2）におけるモデル事業実施企業を含むものとする。

(7) 出展者情報の英語翻訳資料の作成

海外からの招待者と出展者のビジネスマッチングを促進するため、会期前に出展者により作成した製品・サービス等の展示内容について英語翻訳を行うこと。なお、1社につき500文字程度、最大100社程度を見込む。

(8) ビジネスマッチングブースの運営

会期中、出展者と来場者がマッチングを行うためのブース（4人掛けテーブル14卓程度、8人掛けテーブル2卓程度の想定）の運営（資料等の準備、受付、進行、各マッチング内容の記録等）を行うこと。なお、ブースの設営に伴う備品（テーブル、椅子、感染防止対策のためのアクリル板等）は川崎国際環境技術展実行委員会が委託する運営業務受託事業者で手配するものとする。また、当日会場に来られない来場者とのオンラインによるマッチングが実施できるよう機器を手配すること。

会期当日に、当該ブースにおける各マッチングの摘録をとるための人員を7名程度手配すること。うち2名程度は英語でのコミュニケーションが可能な人員を手配すること。

(9) 出展者ピッチの運営

会期中、出展者が来場者に対して行うためのピッチ（プレゼンテーション）の実施にかかる運営（資料等の準備、受付、進行等）を行うこと。なお、会場の設営に伴う備品（テーブル、椅子（客席含む）、モニター、マイク等）は川崎国際環境技術展実行委員会が委託する運営業務受託事業者で手配するものとする。各出展者のピッチ実施後は、参加者とのビジネスマッチング創出のためのフォローアップを行うこと。なお、対象は4（2）におけるモデル事業実施企業は原則本ピッチを実施するものとする。

会期当日に、当該ピッチ会場における運営・フォローアップを行うための人員を3名程度手配すること。

(10) 出展者・来場者に対する会期後フォローアップの実施

出展者及び来場者のうち、10社程度の市内中小企業等に対して会期後に技術展を通じたビジネスマッチング成果の集約、好事例に対する新事業創出やさらなるビジネスマッチングの創出等を目的としたフォローアップを実施すること。対象者については令和8年12月までを目途に発注者と協議の上決定し、会期後に順次対象企業への訪問を行うこと。なお、対象は4（2）におけるモデル事業実施企業を含むものとする。

(11) ビジネスマッチングの創出を目的とした企画の実施

本事業期間中、4（1）～（9）の業務とは別に、3の業務目標を達成するための企画を提案・実施すること。なお、企画の実施は原則会期中に行うものとし、発注者と協議の上実施内容について決定すること。

(12) 発注者との定期的な打ち合わせの実施及びそれらに係る資料の作成

事業期間中、月に2回程度、1回当たり1時間から1時間30分程度の所要時間で発注者と定期的な打合せ月に2回程度行うこと。技術展の直前期は週に1回程度行うこと。併せて、各回の資料・摘録を作成し、打合せ後5営業日以内を目安に発注者に提出すること。

(12) 事業報告書の提出

事業の実施内容について成果報告書を作成すること。同報告書には、個々の業務ごとの直接的な実施結果とともに、実施結果から事業目的に寄与した点について考察することとする。また、次年度以

降の技術展におけるビジネスマッチングの創出に関する提言を盛り込むものとする。なお、提出物は電子データとすること。

## 5 事業実施上の留意点

いずれの業務も実施にあたっては、感染症等に対する十分な感染防止のための措置を講ずることとする。また、同感染症の予防対策のため、各業務については実施形態の変更等もありうることから、事業実施にあたっては発注者と十分に協議の上、柔軟に対応すること。

## 6 業務履行上の遵守事項

- (1) 本事業の業務遂行にあたっては、発注者とともに、川崎国際環境技術展実行委員会が委託する運営業務受託事業者とも綿密に連携し、マッチングのスケジュールリング、出展者ピッチの設計等について協力しながら進めること。
- (2) 本事業は、関係法令及び川崎市契約規則、川崎市委託契約約款（「個人情報の取扱いに関する情報セキュリティ特記事項」を含む）によるほか、本仕様書に基づき実施すること。なお、本仕様書に定めのない事項については発注者と受注者で協議のうえ決定する。
- (3) 業務の進捗状況や提案事項等は随時報告するなど、発注者と密に連携を図り、効果的な業務遂行に努めること。
- (4) 業務遂行上、使用した資料、根拠などはすべて明確にし、発注者に提出すること。
- (5) 受注者は、業務上知り得た情報について、公にされている事項を除き、将来にわたって、自ら利用したり、他に漏らしたり、流用してはならない。また、業務上知り得た個人情報は、委託期間終了後、速やかに発注者に返却し、電子媒体については安全・確実に消去するものとし、紙媒体・電子媒体等の形態を問わず、継続して保有しないものとする。
- (6) 本事業を行うにあたっては、創出される成果が可能な限り市内企業へ波及するように努めること。
- (7) 技術展の出展企業等が持つ製品・技術の理解・把握に努めること。
- (8) その他、この仕様書及び契約書に定めのない事項は、発注者の条例又は管理規程に定めのある場合を除いて、その都度協議して決定する。

**(参考)**

**第19回川崎国際環境技術展について**

本市市内企業等による、脱炭素社会の実現に資する環境への取組や、優れた環境技術等について、に国内外へ情報発信と、ビジネスマッチングのための交流の場の提供を通し、環境分野でのイノベーションの創出や市内産業の活性化を図ることなどを目的とした、環境分野の展示会。

(1) 名称：(日本語名) 第19回川崎国際環境技術展

(英語名) 19<sup>th</sup> Kawasaki International Eco-Tech Fair

(2) 開催期間：令和8年11月中旬(予定)

(3) 会場：カルッツかわさき(川崎市川崎区富士見1-1-4)

(4) 出展者・小間数(予定数)：約120社・団体、約160小間

(5) 来場者数(目安)：約5,000人(開催2日間の延べ回数)

(6) 主催：川崎国際環境技術展実行委員会

<参考・ホームページ URL>

<https://www.kawasaki-eco-tech.jp/>